

週刊 **タバコの正体**

いったんタバコを吸い始めてしまいニコチン依存症になって、何十年も毎日タバコを吸い続ける生活をしている人が大勢います。そんな喫煙者は毎日何本もタバコを吸うので、周りにはその煙が漂う機会が多くなります。そうすると周りの人たちもその煙を吸わされる機会が多くなるわけです。

そこで、下図を見てください。喫煙者がタバコを吸うと自分自身が吸い込む「主流煙」の他に、火のついたタバコの手先から出る「副流煙」、喫煙者が吐き出す「呼出煙」が周りに拡散します。この煙を吸わされる事が「受動喫煙」と呼ばれる「望まない喫煙」なのです。

煙というえに匂いに迷惑する受動喫煙は、不快な思いをするだけではありません。じつは、周りの人が吸わされる副流煙は、下のグラフにあるように喫煙者自身が吸い込む主流煙よりも、有害成分の濃度が何倍も高いのです。ということは、他人のタバコのせいで病気になる可能性があるわけです。「えー、ウッソー」と思うのと同時に「それなら、近くで吸わんといほしいわ」と思いますよね。

実際、受動喫煙が原因だと思われる健康被害は、無視できないほど多く、毎年推定で1万5千人が亡くなっていると言われています。



トヨタ自動車健康保険組合 HP から



という事で、人がいるところが禁煙なのは当然です。だから、現在では禁煙のところばかりで、タバコを吸えるのは喫煙所など限られた場所しかありません。

いかがでしょうか。こんな状況で、あえてタバコを吸い始めるなんて、ありえない選択ですよ。